

令和7年11月教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和7年11月17日（月） 午後2時から

2 場 所 教育プラザ 大会議室

3 出席者

早川教育長 1番委員 大谷教育委員 2番委員 小林教育委員
3番委員 金子教育委員 4番委員 鈴木教育委員

（教育長及び委員以外の出席者）

中澤教育部長、五十嵐教育委員会事務局参事、笹川教育委員会事務局参事（教育総務課長）、小池教育総務課参事、岡教育総務課参事、大石統括栄養士長、市川地域クラブ活動推進室長、廣川学校教育課長、清水学校教育課参事、福山社会教育課長、宮崎社会教育課参事、加藤社会教育課参事、長谷川中央公民館長、新保文化行政課長、石田スポーツ推進課長、瀧口高田幼稚園長、熊木教育センター所長、田村高田城址公園オーレンプラザ館長、鋤柄高田図書館長、大瀧直江津学びの交流館長・直江津図書館長、石田青少年健全育成センター所長、花岡歴史博物館長、笹川小林古径記念美術館長

事務局 小酒井教育総務課副課長、小林教育総務課副課長、三輪教育総務課企画係長、横山教育総務課企画係主事

4 傍聴人 0人

5 会議に付議した事件

議案第55号 令和7年度上越市一般会計補正予算（第5号）について

議案第56号 上越市立水族博物館条例の一部改正について

議案第57号 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件及び職務に専念する義務の特例に関する条例の一部改正について

請願第58号 上越市体育施設条例の一部改正について

議案第59号 教育財産の用途廃止について

議案第60号 上越市文化財の解除について

報告1 上越市教育コラボ2025学び愛フェスタの開催結果について

報告2 上越市「地域の宝」のつどいの開催について

教育長開会宣言 午後2時

会議録署名委員の指名 鈴木委員

教 育 長 | 議案第55号から議案第59号において、上越市教育委員会会議規則第15条の規定により非公開としてよいか。
| 全委員同意

教 育 長	それでは議案に入る。 議案第 55 号 令和 7 年度上越市一般会計補正予算（第 5 号）について、説明を求める。
教 育 部 長	(非公開)
教 育 長	議案について意見、質問を求める。 (意見、質問内容非公開)
教 育 長	それでは、議案第 55 号について、ご承認いただけるか。
原案どおり承認	
教 育 長	議案第 56 号 上越市立水族博物館条例の一部改正について、説明を求める。
教 育 委 員 会 事務局参事(教育 総務課長)	(非公開)
教 育 長	議案について意見、質問を求める。 (意見、質問内容非公開)
教 育 長	それでは、議案第 56 号について、ご承認いただけるか。
原案どおり承認	
教 育 長	議案第 57 号 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件及び職務に専念する義務の特例に関する条例の一部改正について、説明を求める。
教 育 委 員 会 事務局参事(教育 総務課長)	(非公開)
教 育 長	議案について意見、質問を求める。 (意見、質問内容非公開)
教 育 長	それでは、議案第 57 号について、ご承認いただけるか。
原案どおり承認	
教 育 長	議案第 58 号 上越市体育施設条例の一部改正、議案第 59 号 教育財産の用途廃止について、同様の施設に関する事項であるため一括して説明を求める。
教 育 委 員 会 事務局参事(教育 総務課長)	(非公開)
教 育 長	議案について意見、質問を求める。 (意見、質問内容非公開)
教 育 長	それでは、議案第 58 号、議案第 59 号について、ご承認いただけるか。

原案どおり承認

教 育 長

議案第 60 号 上越市文化財の解除について、説明を求める。

教 育 委 員 会
事務局参事(教育
総 務 課 長)

本件について、10 月 29 日の上越市文化財調査審議会にお諮りしたところ、同日付けで答申をいただいたことから、上越市文化財保護条例第 3 条の規定に基づき議案を提出するものである。

解除について答申のあった文化財は 5 件で、いずれも柿崎区柿崎に所在する鍋屋町遺跡からの出土品である。種別は、いずれも有形文化財、考古資料である。

教 育 長

議案について意見、質問を求める。

質問、意見なし

教 育 長

それでは、議案第 60 号について、ご承認いただけますか。

原案どおり承認

教 育 長

続いて、報告に入る。

報告 1 上越市教育コラボ 2025 学び愛フェスタの開催結果について、説明を求める。

教育総務課参事

学び愛フェスタは、11 月 1 日の「上越市教育の日」、11 月の「上越市教育を考える市民の月間」の趣旨を広めるイベントとして、市民に教育への理解と関心を深めていただく場として、上越教育大学や教育関係団体等と連携して実施している。

今年度は 11 月 11 日から 15 日までパネル展示、15 日に、リージョンプラザ上越や上越科学館等において、体験イベントや講演を実施し、参加者数は 4,116 人であった。

参加者からは、「わくわくトライアルで、様々な体験をすることができ、楽しかった」「学習成果発表会を見て、自分も中学生になったら、タブレット立てや本棚を作るのに挑戦したいと思った」といったお声を頂戴し、ご参加いただいた皆様の「学び」を考える機会の創出に寄与したものと実感している。

次年度に向け、一層多くの方々や幅広い世代の方々にご参加いただけるよう、体験イベントや展示内容に工夫を凝らしていくとともに、効果的な広報手法を検討していきたいと考えている。

教 育 長

報告について意見、質問を求める。

小 林 委 員

多くの来場者があり、イベントの周知が進んだことを実感した。個々の取り組みも非常に質が高かったと感じた。学び愛フェスタは「教育を考える月間」の一環として重要なイベントである。本イベントの願いを上越市民に浸透させるための工夫が必要であると考える。また、学校と地域、家庭の連携やイベント構成を一貫させることが求められる。特に教職員の参加が少なかったことから、今後の改善が求められる。

教育総務課参事

参加者は主体的に取り組んでおり、特に高校生の参加が多くみられ、参加者層が多様化した。一方で、家庭や地域の参画の視点が課題となった。学校については、働き方改革の影響もあり困難な部分もあったが、「小学校かるた」など一定の関連があった。今後は学校と家庭と地域の連携という観点から、工夫を進めたい。

鈴 木 委 員

「小学校かるた」の作成を通じて市内の学校について知ることができた。また、保護者として参加者と交流する機会を得ることできた。イベント内容は、

	ボードゲームやスポーツなどの活動もあり充実していたが、保護者向けのメッセージがあつても良いと感じた。また、パネル展示を通じて、上越市小中学校PTA連絡協議会の役割や活動を周知する良い機会になった。
金子委員	家庭の事情でイベントに参加できない子どもがいるため、会場に来られない人も参画しやすい仕組みを考えてほしい。また、子どもや保護者、地域それぞれに学びの多い展示があるため、より多くの人がその機会を得られるような対応を行ってほしい。
教育総務課参事	本イベントは、主体的に学ぶ子どもたちの姿が魅力であり、子どもたちがフェスタの場を積極的に活用できるよう、工夫を重ねていきたいと考えている。また、広島平和記念式典中学生派遣事業報告については、オンライン実施を検討したが、インターネット環境から断念した。引き続き検討していきたい。
教育長	教育の日が制定されてから10年以上が経過し、学校教育以外の学びにもスポットライトが当たってきており、一般の皆さんから注目を浴びるイベントになってきていると感じている。今後さらに工夫を重ね、取り組みを充実させていきたいと考えている。
教育長	報告2 上越市「地域の宝」のつどいの開催について、説明を求める。
文化行政課長	本集いは、「地域の宝」認定制度の周知や団体相互のネットワークづくりを目的に開催しているものである。内容は、認定団体の活動紹介発表である。今年度は、11月19日から27日までを会期とし、活動団体のPR展示を計画している。詳細は資料の通りである。
教育長	報告について意見、質問を求める。
大谷委員	活動団体が滝寺地域に偏っているがなぜか。
文化行政課長	公募の結果、今回は滝寺に偏った。市としては、多くの団体から参加していただけるよう声をかけ続けていきたい。また、これまでの実績として民族芸能からの参加が多い。
大谷委員	やはり、活動中の団体の中で積極的に発表を希望される団体は少ないのか。
文化行政課長	各団体の構成員の皆さんの方に左右されると感じる。実際に、参加に積極的ではない団体も存在する。そのような団体にも参加していただけるよう、今後も働きかけを続けていきたい。
大谷委員	パネル展示はどのようなものか。
文化行政課長	118団体の活動を紹介するパネルと各団体の詳細な活動内容をPRする2種類となっている。
小林委員	定員数50名は適当と考えるか。
文化行政課長	高田城址公園オーレンプラザのガラス張りのスタジオでの発表という制約がある。定員を超える場合は立ち見など柔軟に対応することとしている。
小林委員	開催場所について、上越市小中学校PTA連絡協議会においても話題に上がっていた。開催場所を変更することについてご検討いただきたい。
文化行政課長	今年度の状況を踏まえ、検討していきたい。

閉会宣言

午後 2 時 35 分

令和 7 年 11 月 17 日

上越市教育委員会

教育長

早川 義裕

会議録署名委員 鈴木 博美